



は っ と り 服部のりふみ

みなさんと一緒に、希望のもてる地域づくりを進めます！



後援会事務所（自宅）

〒509-7401 恵那市岩村町飯羽間 3126 番地

TEL/FAX 0573-43-3835

HP <http://ccm.enat.jp> E-mail norifumi@ccm.enat.jp

日々の活動は、フェイスブックをご覧ください！

<https://www.facebook.com/hattori.norifumi/>

高齢者のワクチン接種も大きな混乱もなく進められ、予定通り 7 月末までには終了する予定と聞いており、関係者の献身的な努力に感謝を申し上げたいと思います。さて、議会においては、まだまだコロナ対策が中心となっていますが、アフターコロナを見据えた動きも少しずつ出てきています。一日でも早く収束させ新たな日常のもと、落ち込んだ経済の回復などの取り組みにシフトできるよう、もう少し頑張らしましょう。

第3回議会定例会の内容

5 月 25 日	議会全員協議会	議案等の説明がありました。
6 月 1 日	議会本会議（議案上程）	執行部から 4 件の専決承認が上程され全て承認。また、11 件の議案が上程され、全て所管の常任委員会へ付託されました。その他、議会から会議規則の一部改正が上程され議決されました。
6 月 14 日	総務文教委員会	4 件が承認されました。（所管部分承認 1 件）
	市民福祉委員会	4 件が承認されました。（所管部分承認 1 件）
6 月 15 日	経済建設委員会	5 件が承認されました。（所管部分承認 1 件）
6 月 18 日	議会全員協議会	追加上程議案（一般会計補正予算）等の説明がありました。
6 月 23 日	一般質問	平林多津子、町野道明、伊藤勝彦、秋山佳寛、堀光明、佐々木透、安藤直実の 7 名が登壇
6 月 24 日	一般質問	猿渡南江、服部紀史、西尾努、太田敦之の 4 名が登壇
	議会本会議（追加議案上程）	執行部から一般会計補正予算 1 件の議案が上程、委員会付託され、その後、各常任委員会が開催され承認されました。
6 月 30 日	議会本会議（採決）	常任委員会に付託されていた 12 件が委員長報告のもと、一件ごとに審議され、本会議において全て可決されました。また、議会から太陽光発電施設の立地規制等に係る法整備等を求める意見書が発案され可決されました。

議決内容（主なもの）

条例の一部改正（6 件）

- ・コロナ感染症の影響により収入が減少した被保険者等の保険料の減免に係る対象期間を改めるため、国民健康保険条例及び介護保険条例を改正
- ・地方税法の改正（寄付金の範囲の見直し、セルフメディケーション税制の延長、扶養親族に係る規定の明確化）に伴い市税条例を改正
- ・健康保険法の一部改正に伴い市立恵那病院の利用料金に多焦点眼内レンズの費用を追加（医療保険の適用拡大）
- ・太陽光発電設備の規制を強めるため設置に関する条例を改正（小規模な設備も条例の対象とし、地域住民が事業者との協定締結を求めることができる規定等の追加）
- ・ふれあいエコプラザの休館日を変更するための改正（屋内施設が月、火→日、月に変更）

その他の議案（4 件）

- ・三郷小学校大規模改修工事の契約の締結（契約金額 190,850 千円）
- ・笠置山の望郷の森内の管理棟他の建物を中野方自治振興会に無償譲渡
- ・消防ポンプ車の更新に伴う財産の取得（54,890 千円）
- ・恵那西工業団地整備に伴う新規市道路線の認定（1 路線）

補正予算その 1（1 件）

- 一般会計 補正額 741,791 千円（補正後 26,799,093 千円）
- <主な内容>
- 新型コロナウイルスに係る事業 59,262 千円
 - ・子育て世帯生活支援特別給付金事業（ひとり親家庭で低所得世帯の 18 歳以下児童に 1 人当たり 5 万円を支給）
 - ・観光 P R 事業（日帰り入浴施設割引キャンペーンの早期実施）
 - 緊急対応を要する事業 274,282 千円
 - ・議場のバリアフリー化事業
 - ・くしはら温泉ささゆりの湯空調機器修繕
 - ・恵南中学校 5 校での遠隔交流事業（I C T 設備等）
 - 国、県の補助金等を活用した事業 408,247 千円
 - ・アウトドアレジャー施設整備事業（保古の湖周辺）
 - ・恵那西工業団地内の道路整備事業

補正予算その 2（1 件） 追加議案分

- 一般会計 補正額 241,608 千円（補正後 27,040,701 千円）
- <主な内容>
- 新型コロナウイルスに係る事業 163,648 千円
 - ・ワクチン接種やアフターコロナ対策としての旅得チケット事業、小中学校の修学旅行等のキャンセル料等
 - 災害復旧関連事業 77,960 千円
 - ・本年 5 月の豪雨災害による復旧事業費（農地、農業用施設、道路、河川等）

※いずれの議案も賛成しました。詳細は、後日議会事務局から発行される「議会だより」をご覧ください。

いわむらトピック

大規模太陽光発電所の建設



飯羽間地内に大規模な太陽光発電所の建設が進められようとしています。恵那市の太陽光発電設備設置に関する条例により、設置が適当でない箇所（土砂災害流出危険区域）でのパネル設置は設計変更により回避される見通しとなり、現在、設置業者と地元において事業実施に係る協議が進められています。

令和 2 年度の出生数の状況

令和 2 年度の出生数が確定しました。コロナ禍の影響もあり、出生数は深刻な状況となっています。

	市全体	岩 村	山岡	明智	串原	上矢作
平成 28 年度	297 人	32 人	19 人	20 人	6 人	5 人
平成 29 年度	291 人	22 人	14 人	19 人	2 人	7 人
平成 30 年度	305 人	31 人	18 人	13 人	3 人	5 人
令和元年度	241 人	27 人	12 人	17 人	2 人	2 人
令和 2 年度	235 人	24 人	11 人	17 人	0 人	3 人

一般質問(概要)

一般質問とは、議員が市の仕事全般について、現状やこれからの考えについての質問や政策提言を行うことができるもので、定例会だけで行われています。今回の一般質問は、私の政策テーマであります「希望のもてる地域づくり」の第三弾として、「地域内経済循環による産業振興について」をテーマとして、市長が掲げる「はたらく」の最も重要な施策展開を図るための指針としている「恵那市産業振興ビジョン」を取り上げて一般質問を行いました。以下に主な質問と、執行部からの答弁を抜粋して紹介します。

産業振興ビジョンの概要

質問 現在策定されている、恵那市産業振興ビジョンの概要についてお尋ねします。

回答 産業振興ビジョンは、地域産業やその担い手である中小企業等が地域社会の発展に果たす役割の重要性の認識のもと、恵那市を取り巻く社会経済環境の変化等を踏まえ、市と中小企業者等が協働して取り組む産業振興の基本方向や推進する施策などを明らかにすることを目的に平成30年3月に策定されています。産業振興ビジョンで目指す地域産業の姿を「稼ぐ力の強い、持続する地域産業の形成」とし、3つの視点に基づき、5つの基本方針、15の基本施策、32の展開事業の施策体系に加え、7つの重点プロジェクトより推進を図ることとしている。(商工観光部長)

産業振興ビジョンの成果

質問 策定から3年間が経過しましたが、これまでの成果や課題について、7つの重点プロジェクトごとにお尋ねします。

回答

1. 恵那の「もの」「こと」創造プロジェクト

商業分野の成果は、一般社団法人ジバスクラム恵那を設立し、地域資源のブランド化や市場開拓、販路拡大等を総合的にプロデュースする体制を確立したことで、課題は地域内外に販売する仕組みづくりや高付加価値商品の開発などです。農業分野の成果は、恵那農業高校と民間企業との産官学連携事業による地域資源を活用した新商品開発と新ブランド化に向けた取り組みができたことで、課題は新商品のブランド化を図るために時間がかかることや市場ニーズに合った作物の栽培や加工品の開発の必要性があることです。林業分野の成果は、オリジナル木工製品開発促進事業の実施や県内初となる森林環境譲与税を活用した森林整備の実施で、課題は市内産材の流通の確保や住宅での利用促進です。

2. 集客・交流コンテンツ創造プロジェクト

観光分野の成果は、恵那峡リニューアルオープンや大河ドラマ「麒麟がくる」を契機とした明智光秀ゆかりの地の案内看板などの整備で、課題は新しい生活様式に対応した観光の仕組みづくりや宿泊・体験・食が連携したアウトドア観光資源の磨き上げです。農業分野の成果は、市民・市内飲食事業者により市内農産物を知ってもらうとともに農家の販売場所を確保する「たべとるマルシェ」の開始で、課題は市場流通させるためのロットなどの諸課題があることです。

3. 魅力発信プロジェクト

観光分野の成果は、台湾国際旅行博へのブース出展や明知城や落合砦などの山城の情報発信で、課題は一元的な地域情報プラットフォームの構築です。農業分野の成果は、「食」と「農」のポータルサイト「たべとる」の整備で、課題は情報発信の更なる充実です。林業分野での成果は、担い手育成を目的とした、えなの森魅力発信事業を実施し、体験ツアー等の参加者が増加したことで、課題は新規林業就業者はいるものの早期離職者が多いことです。

4. 事業者総合支援プロジェクト

商工業分野の成果は、恵那くらしビジネスサポートセンターと岐阜県よろず支援拠点が連携して専門相談員を配置した経営相談体制の強化で、課題は新たな生活様式やニーズの変化に対応した経営スタイルへの支援や市内事業者間でのビジネスマッチング機会の創出です。農業分野の成果は、農業外法人2社が農業参入を行ったことで、課題は異業種からの農業参入に対する環境整備や支援策の強化・充実です。

5. 創業・起業促進プロジェクト

商工業分野の成果は、情報提供やアドバイスなど必要な関連サービスを恵那くらしビジネスサポートセンター1カ所で行えるように機能の充実・強化を図ったことで、課題は専門家を活用した事業継承への支援です。農業分野の成果は、農業経営セミナー開催を通じて農家の学ぶ機会の創出や経営者としての意識の醸成を図ることができたことで、課題はその後の経営に対する伴走型個別サポートの仕組みの構築です。

6. 地域経済拡大プロジェクト

工業分野の成果は、新たな工業団地整備の推進で、課題は新たな工業団地用地の検討や都市部企業とのビジネスマッチング機会の創出です。農業分野の成果は、企業立地促進条例の対象に「農業」を追加し支援強化したことで、課題は個人などの資本金がない者に対する支援策の強化・充実です。

7. 人材確保プロジェクト

全分野において、成果としてハローワーク恵那、恵那くらしビジネスサポートセンター、恵那市雇用対策協議会の連携による雇用促進事業の推進やシニアワークステーション設置によるシニア世代の就職支援、農福連携の推進によるマッチングの実施や営農組合の法人化支援による担い手育成と経営基盤の強化が図れたことで、課題はICTを活用した地元企業の魅力発信や雇用奨励金制度の検討、教育機関と連携した地元企業での職場体験や営農組織がない地域での組織化に対する支援です。(商工観光部長)

産業振興ビジョン(商業・工業・観光)の見直しの方向性

質問 本年度、見直しを実施されるとのことですが、見直しの方向性の考え方やアフターコロナの対応等についてお尋ねします。

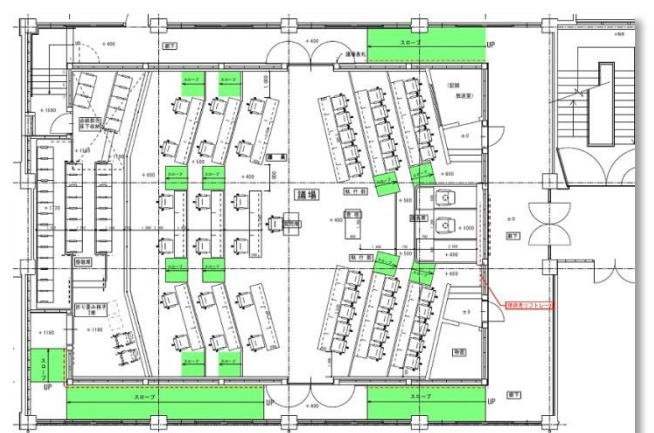
回答 見直しの方向性としては、恵那市総合計画、恵那市まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合性を図りながら、アフターコロナ時代を見据え、両利きの経営理論に基づき、既存施策を掘り下げる「知の深耕(しんこう)」を2、恵那市のオリジナル性を反映した新しい施策の「知の探索(たんさく)」を8の割合で構成していきます。「知の深耕(しんこう)」では、目標と実績の乖離の追及や地域の業種・業態の行動指針など既存施策の見直しを行い、「知の探索(たんさく)」では、見えざる資源を探ることでの資源の見直しや新しい日常への対応などの新規施策を策定していきます。(商工観光部長)

※市長から最後に考えを述べていただきましたが、その内容については後日発行の「議会だより」で紹介させていただきます。

議会を終えて

今議会での最大の関心事は、やはり太陽光設備設置に関する条例の一部改正だったと思います。何といたってもパブリックコメントにおいて、32人66件という多くの意見が寄せられたことをみても、市民の方の関心の高さが伺えます。それ故に審議も慎重にならざるを得ず、国の動向や他市の状況などを調べるのに多くの時間を費やしました。また、今回の補正予算には、議場のバリアフリー化を主な改修内容とした大規模改修事業(事業費189,589千円)が含まれていました。右図がその改修平面図で、床の段差を解消しつつ、黄緑色の部分がスロープ化される他、これまで聞き取りづらかった音響設備等も更新される計画です。これまで、コロナ禍の影響で議会傍聴も制限されていましたが、来年の3月議会までには、改修されるということです。コロナ収束とともに多くの方に傍聴にお越しいただきたいと思います。

議場大規模改修平面図(市役所4階)



次号は、9月議会終了後に発行する予定です。皆様のご意見やご感想をお聞かせください。